

4 新施設の建設場所

前 項③を満たすためには、相当な敷地面積が必要であり、既存施設と併設することで新施設の規模縮小と経費削減が実現できます。その条件に最も当てはまることから、地域交流センターに隣接する方城分館周辺を新施設の建設候補地とすることを求めます。

5 公共交通の充実と既存施設の解放

建 設候補地の方城分館周辺は車以外での来場が難しいと予測されるため、福祉バスなど公共交通機関の一層の充実を求めます。また地区の集会所をはじめとする既存施設をさらに開放し、地域活動・学習の場を提供するよう求めます。



6 適切な跡地利用

跡 地は、多くの住民の理解が得られる活用ができるよう、慎重に審議するよう求めます。また、金田分館は、隣保館機能を併せもつ複合施設であり、耐用年数もまだ残っていることから、すぐに解体するのではなく、活用しながら移転などを慎重に検討していただくよう願います。

1 統廃合の対象とする施設

耐 用年数が少なく、安全面や維持管理費用の面で課題のある下記の6施設から優先的に統廃合を進めるよう求めます。

- ▶ 中央公民館(残寿命 2年) ※以下「残」と省略
- ▶ 金田分館(残 11年) / ▶ 方城分館(残 1年)
- ▶ 方城体育館(残 3年) / ▶ 金田体育館(残 9年)
- ▶ 赤池体育センター(残 9年)

2 新施設の機能と建設方法

対 象となる多くの施設の耐用年数が目前に迫る中、改修ではなく新築することが望ましい。また、新施設は幅広い用途で使用できる施設であり「教育の拠点」と呼べる施設であるために、公民館と体育館の機能を併せもつ複合施設として同一敷地内に建設することを求めます。

3 利用者の活動の確保

日 常的に公民館・体育館を利用する団体が新施設で活動を継続できるよう対応すると共に、全活動を継続できる規模の施設を建設することが望ましい。また建設中も活動を中断しないよう、新施設が完成し機能の移行が完全に終わった後に既存施設を解体するよう求めます。



社会教育施設の統廃合

「町社会教育等統廃合検討委員会」が今後見直す意見書提出

公民館・体育館をはじめとする施設の今後のあり方を検討するため、社会教育に関わりの深い委員10人で組織された「福智町社会教育施設等統廃合検討委員会」が、昨年7月から議論を重ねた意見書を黒土町長へ提出しました。ここで委員会が届けた6つの意見書の声をご紹介します。

「社会教育委員の会」委員長であり、統廃合検討委員会の委員長も務めた徳久公博さんが、12月22日に黒土孝司町長へ意見書を手渡しました。



「赤池・方城支所」廃止へ

郵便局やコンビニ交付の環境整備支所を廃止して本庁に一本化

「福智町行財政改革大綱」答申から15年の時を超え、実施される赤池・方城支所の廃止。福智町はただ無くすのではなく、住民の皆さまにとって利便性の高い行政サービスの提供を目指しています。

公共施設の適正化と行政サービスの質向上を目指す
福智町誕生後16年間、赤池方城支所の運営が続けてきましたが、施設の老朽化が進み多額の維持管理費用がかかることから令和4年3月末をもって両支所を廃止することを決断しました。町はこれまで赤池・方城支所の廃止を見据え、その後も利便性の高い行政サービスが提供できるように、日本郵便やコンビニエンスストアと連携し、各種証明書の交付や福智町の税金などの納付ができる環境を整えてきました。今後は、金田本庁舎のご利用のほか、時間や場所の制限にとらわれない郵便局交付とコンビニ交付・納付もぜひご活用ください。よろしくお願いいたします。

町内の3郵便局で各種証明書が取得可能に



上 記3郵便局では、運転免許証やマイナンバーカードなどの本人確認書類と発行手数料があれば、住民票/印鑑証明書/今年4月からは戸籍謄本・抄本(原戸籍を除く)の交付が受けられます。なお、同一世帯内であればご家族の住民票も取得できます。



全国のコンビニでいつでも、どこでも納付・交付できます!

店 頭に「公共料金収納取扱窓口」の表示があるコンビニエンスストア(町内のコンビニは全て対応)では、時間や場所を問わず、福智町の税金などを手数料無料で納付することができます。コンビニ納付対象外の使用料などもありますので、ご注意ください。



コンビニ交付・納付に関する詳しい情報は福智町のホームページでご確認ください▶



キオスク端末を自分で操作して手軽に交付!

マ イナンバーカードさえあれば昼夜・休日・場所を問わず、コンビニのキオスク端末(マルチコピー機)で、福智町の住民票や戸籍などの各種証明書が簡単に取得できます。手数料も役場で取得するより100円安くてお得。郵便局交付と合わせてご活用ください。

